

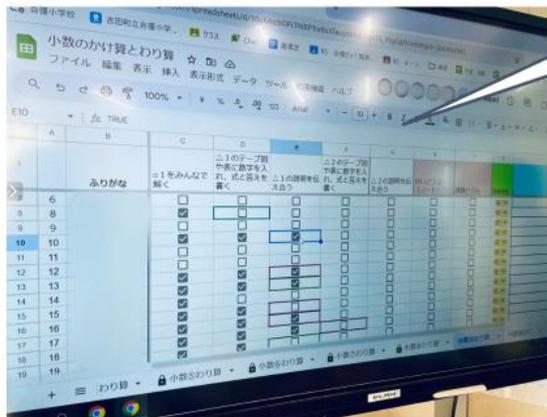
【取組内容④】協働的で積極的な教員研修

- ・ 1人1台端末、複線型授業を進めるにあたっての教師の役割と授業の進め方 No4  
できることから少しずつ

一歩踏み出すことで出てきた疑問を考える。～大久保先生を招いて～

⑤学習の進捗状況を、教師も子どもも見取れるようにする。（クラウドの活用）  
今日の授業から

4年生（算数）



（教師）誰を支援するか？  
（子供）誰と協働するか？

クラウドで進捗を把握

学習の進捗状況を確認し、教師はタイムリーに指導支援を行う。

子どもたちは、協同する相手を見つける。

⑥振り返りの時間をとる。（内容ではなく、学習方法について振り返らせ、蓄積していく。）学習内容のふりかえりとは別に、学習方法について振り返りをする時間を5分取る。自分に合った学習方法を考えながら、**自己調整力**を育む。